



令和2年度 西区実施プラン

令和2年（2020年）4月

はじめに

西区は、三角山や琴似発寒川をはじめ、豊かな自然に恵まれ、その魅力を高める活動に地域の方々が長年にわたって取り組んでいます。

また、さまざまな文化芸術関連の施設が設置され、多様な文化芸術の催し物が行われております。

こうした西区の自然や区民の皆さまの活動を大切にしながら、誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づいた防災・環境・文化などの事業を、SDGs^{*1}（持続可能な開発目標）の視点を踏まえつつ、皆さまとともに進めてまいります。

区役所は区民の皆さまにとって一番身近な行政機関です。区民の視点に立ち、責任ある仕事と親切丁寧な対応に、より一層努めてまいります。

西区長 栗崎 寿也

I 西区の使命

区民誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、地域の主体的なまちづくり活動を支援し、区民の皆さまとともに西区のまちづくりを進めてまいります。

II 西区の運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく防災・環境・文化芸術の各事業を中心に行うとともに、次の3つの方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

1. 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり
2. 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり
3. 市民感覚を大切にされた地域とともに進めるまちづくり

西区の運営方針に基づき各部では次の目標を掲げます。

- ◆市民部・・・さまざまなまちづくり活動の推進支援と区民の声を活かした区役所運営の推進
- ◆土木部・・・道路、公園での安全・安心・快適と創造性を育む空間の提供
- ◆保健福祉部・・・子どもから高齢者まで誰もが健康で安心して暮らせる地域福祉の推進

¹ SDGs：平成27年（2015年）9月の国連サミットにおいて採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。中長期的な観点のもと、経済、社会、環境といった広範な課題に全ての主体が統合的に取り組むことで、持続可能で多様性のある社会の実現を目指すもの。

Ⅲ 運営方針実現のための取組

1 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

(1) 地域の防災力強化

「西区防災訓練」において実際の災害時と同じ行動を体験できる実践的な訓練を行います。

また、「避難所開設研修」において、区職員、学校職員及び地域住民の三者で実際に避難所を設営する訓練を行います(令和2年度は小中学校5校、令和3年度は全指定避難所(基幹)で実施)。

さらに、発災時において地域団体が円滑な初動対応を行うことができるよう、わかりやすいマニュアル(アクションカード)作成などを支援します。



西区防災訓練



避難所開設研修

<数値目標>

西区防災訓練の地域住民参加者数 100人

避難所開設研修の地域住民参加者数 50人

(2) 介護予防体操の普及

高齢者が健康で地域で活躍できることを目指し、住民とともに制作した介護予防体操「エコロコ!やまべ誰でも体操」の普及を関係団体や地域の方々とともにすすめていきます。

新たに、健康や体力に自信のない高齢者に体操を実施してもらう機会を持ち、より幅広い方に効果を実感してもらい、体操の普及に努めます。

また引き続き、普及員養成講座を開講するとともに、普及員が地域の担い手として活躍できるための場の確保や研修会等の開催を通して普及員同士が交流できる体制づくりをすすめていきます。

<数値目標> 普及員数 420人



YOSAKOI ソーラン祭

(3) 認知症の方や家族への支援

認知症の方がいつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、「認知症にやさしいまちづくり」に向けて、西区オリジナルの「やさしさ まごころのあるまち つくるべエ」というキャッチフレーズのもと、昨年度作成したリーフレットやポスターを配布し、多くの区民の皆様が認知症について理解を深め、早期に気づき、見守りや相談に結びつくための周知や講座を関係機関とともにを行います。また、認知症の方や介護者の孤立を防ぐため、関係機関との連携を強化し、介護者同士の交流会等を開催します。



認知症に関するリーフレット

(4) 安心して子育てできる地域の環境づくり

乳幼児の子育て家庭が安心して子育てができるよう、地域の子育て関係機関や団体、地域主体の子育てサロンや子育て支援者と連携し、地域の環境づくりを進め、「転入者子育て交流会」、「さんかくやまベエまつり」を実施します。

こそだてインフォメーション「さんかくやまベエのへや」などにおいて、利用者のニーズに添い、子育てに関する情報の提供や相談などを行います。



遊びを通した交流の場「さんかくやまベエまつり」



転入者子育て交流会

(5) 地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指して、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体やグループの活動を支援し、健康フェアや健康講座など、誰もが参加できる健康づくり事業を協働で行います。

また、健康づくり活動がより多くの区民に広がるよう、地域主催の健康講座や子育てサロン、乳幼児健診の場を活用し、若い世代に対してがん検診等の啓発を行います。

(6) だれでも・いつでも・なんどでもノルディックウォーキング事業

働く世代を含む幅広い世代の区民が多様なライフスタイルに合わせ、年間を通してノルディックウォーキングを活用した健康づくりに取り組むことができるよう、農試公園と保健センターを拠点として、ポールの無料貸し出し、講習、啓発イベントなどを行います。

〈数値目標〉 ノルディックウォーキングを実践した人数（累計）1,300人



ノルディックウォーキングを活用した健康づくり

(7) 誰もが楽しめる公園づくり

身近な公園の全面改修を、地域の方々の声を取り入れながら、順次進めます。また、安全安心に公園を利用できるように、老朽化した遊具、ベンチ、外柵などの部分改修を行います。

(8) 自転車対策の推進

歩行者の通行を妨げないよう、地下鉄4駅・JR4駅を中心に、駐輪場及び周囲の自転車の誘導・整理、放置自転車の撤去等を行います。

(9) 安全・安心な道路の確保

老朽化が進んでいる生活道路について、舗装の更新などの生活道路整備を順次実施するとともに、道路の安全性向上に向け、交差点を中心にガードレール等を設置します。

また、円滑な交通を確保するため、傷んだ舗装の補修を実施するとともに、道路の除排雪を実施します。

2 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり

(1) 西区環境まちづくり協議会など地域の人々が主体的に取り組む環境活動を支援

西区の豊かで恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、「西区環境まちづくり協議会」や区民・団体・企業など、地域の人々が主体的に取り組むSDGsに資する環境活動などを支援し、持続可能なまちづくりを目指します。



西区子ども自然学校

① 西区環境まちづくり協議会支援補助金

西区環境まちづくり協議会の活動に対し、補助金を交付します。

<補助金を活用して実施される主な活動>

- ◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区子ども自然学校」
区の自然の中で、季節に応じたプログラムを行う自然体験教室
- ◆「親子で環境満喫バスツアー」
リサイクルや省エネ啓発を目的とした、市内環境関連施設見学バスツアー
- ◆「西区こども環境広場」
様々な体験やゲームなどを通じて、楽しみながら環境について学ぶ体験型環境イベント

② 西区アダプト・プログラム

アダプト・プログラムとは、企業や学校、商店街などの地域団体と、西区役所が協定を結び、身近な道路や公園といった公共の場所を清掃するなど、継続的にまちの美化活動を行うことをいいます。

参加団体には、西区役所から、軍手や火ばさみなどの清掃用具や無料回収ごみ袋、作業用のベストの提供、傷害保険の加入といった支援を行います。

なお、10年以上継続して活動している団体への表彰制度も設けています。



アダプト・プログラム活動の様子

(2) 琴似発寒川の環境保全推進事業

地域住民が主体となって実施する琴似発寒川の環境保全活動を支援します。

① 琴似発寒川一斉清掃

西区内全ての連合町内会が参加して、春と秋の年 2 回、琴似発寒川及び左股川の河畔約 12 kmを清掃します。

② やまめの稚魚放流

西区内全ての連合町内会が参加して、春の一斉清掃の翌週に琴似発寒川及び左股川の流域6会場で、やまめの稚魚30,000 匹を放流します。

(3) 地域の文化芸術活動の推進

西区には、様々な文化関連施設が設置されており、本格的な文化芸術に触れることができる環境が整っています。その環境を生かして、区民の方へ上質な文化芸術に触れる機会を創出するとともに、地域のホールなどを活用しながら、普段、文化芸術に触れることが少ない方にも気軽に触れる機会を提供することで、地域のにぎわいづくりや住民間でのつながりを促進し、文化芸術を生かしたまちづくりを進めていきます。

① コトニジャズ

地下鉄琴似駅などを会場に、プロのミュージシャンによるジャズライブを行います。

〈令和2年度の開催回数〉

地下鉄4回 ホール1回の計5回を予定

② コトニクラシック

地下鉄琴似駅などを会場に、西区在住のヴァイオリニスト大平まゆみさんのコンサートを行い、上質な音楽に触れる機会を提供します。

〈令和2年度の開催回数〉

地下鉄3回 ホール1回の計4回を予定

〈数値目標〉コトニジャズとコトニクラシックの来場者数 1,500人

③ 西区文化フェスタ

2月の約1か月間を開催期間とし、区内各施設を活用しながら、コンサート、ライブ、ダンス、演劇、日舞など様々なジャンルのイベントを開催します。

〈数値目標〉来場者アンケートにおける満足度 85%以上

④ 子ども向けワークショップ「こども・あーと・にしく」

子どもが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供する子ども向けワークショップ「こども・あーと・にしく」。

自宅では作成することが難しい専門的な作品を子どもたちが創造力を働かせながら創作するとともに、普段はなかなか触れることが出来ない芸術作品を鑑賞するなど、芸術文化に染まる1日となります。

3 市民感覚を大切にした地域とともに進めるまちづくり

(1) 企業連携による西区魅力創出プロジェクト事業

区内にある食産業やものづくり等の魅力を多くの方が知り、集客交流が促進されるよう、企業と連携して地元の子どもや若者などに魅力を体験してもらう機会を作り、地域周遊及び地域内消費の促進を図ります。また、区内の魅力向上に向けた資源（取組の意向がある企業等）の発掘を行います。

〈数値目標〉 魅力体験の参加者数 80 人



令和元年度実施周遊ツアーの様子

(2) 地域の課題解決をまちセンがサポート

区内に8か所ある「まちづくりセンター」が、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえたさまざまな事業を行い、住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指します。

(3) 緑あふれるまちづくり

花苗や種を町内会などに配布して、歩道空間の美化事業を、地域の皆さんと協力して実施します。

また、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）について、地域と協力したラベンダーの植栽を進め、シンボルロードづくりを行います。

(4) 冬の暮らしに親しむ雪体験授業の実施

将来のまちづくりを担う子どもたちが、冬の暮らしに関心を持ち、札幌の雪対策に対する理解が深まるよう、雪体験授業を行います。

〈数値目標〉 西区内の全ての小学校

(5) 区内のまちづくり活動の情報発信

活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、町内会を始めとするさまざまなまちづくり活動を、広報さっぽろの表紙（写真 40 枚）や西区ホームページ（140 件）で広く紹介します。

また、広報さっぽろの企画「今月のやまベフレンズ」（8 回）の連載と、西区役所 1 階ロビーのデジタルサイネージ（電子看板）に「西区ニュース」（50 件）を定期的に配信します。



広報さっぽろへの掲載



西区ホームページへの掲載

(6) 窓口混雑緩和の取組の実施

春の引っ越しシーズンの混雑が著しい戸籍住民課窓口において、待ち時間を短縮し、混雑緩和を図ります。

西区役所 1 階ロビーに案内係（コンシェルジュ）職員を配置し、庁舎内案内とともに、窓口受付前の事前説明（必要書類等）を行います。

また、区民の届出書類への記入の補佐等を行うことで、受付に要する時間を短縮し、スムーズに手続きがすませられるようにします。